

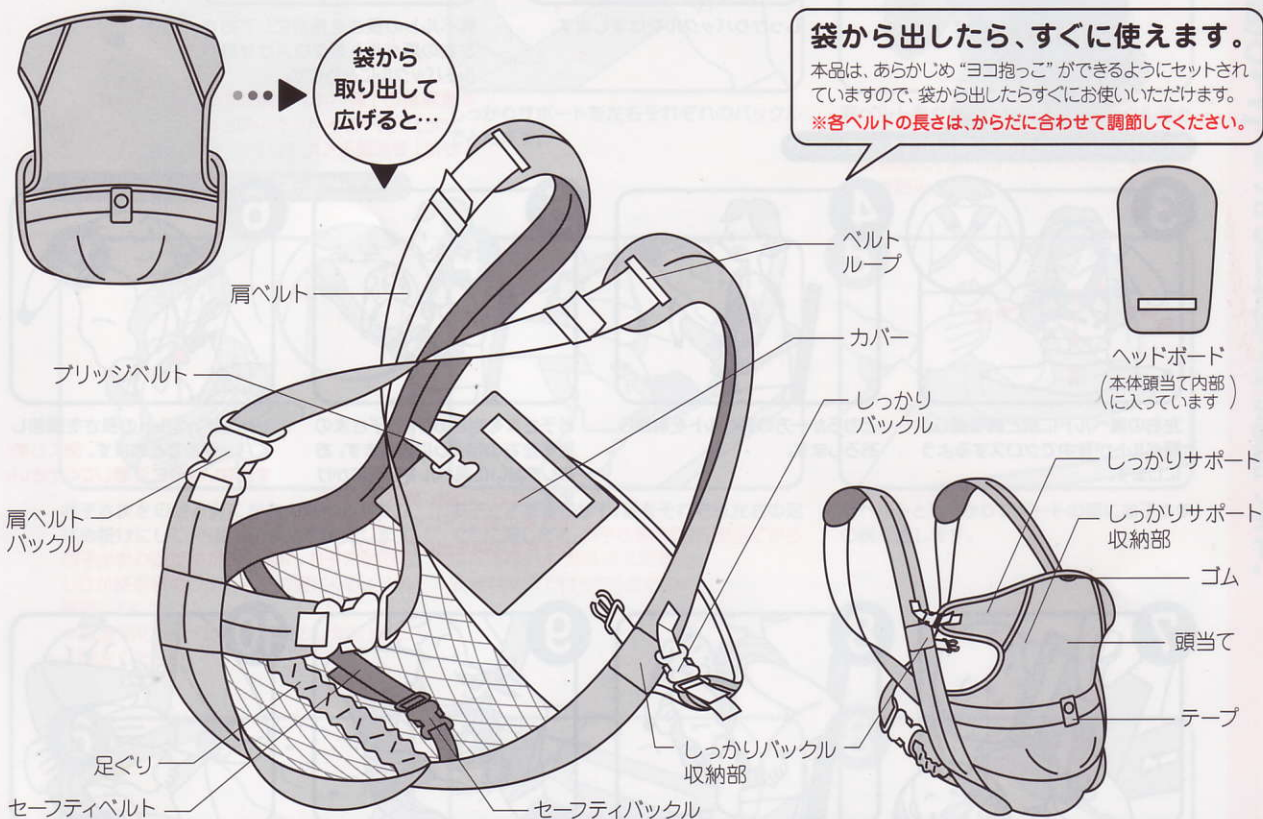
取扱説明書

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、取扱説明書は必ず保管してください。

本品を他の方にお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。



安全にお使いいただくために。

使用できるお子さまの月齢

「ヨコ抱っこ」……………生後10日頃から～首がすわる(4ヵ月頃)まで

「対面しっかり抱っこ」
「前向きしっかり抱っこ」
「しっかりおんぶ」

※しっかりサポート使用

…………首がすわってから(4ヵ月頃)～18ヵ月(体重約12kg)まで

「対面抱っこ」
「前向き抱っこ」
「おんぶ」

※しっかりサポート未使用

…………首がすわってから(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重約13kg)まで

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

※使用者の対応ウエストサイズ 58cm～98cm(体型によって装着できない場合もあります。)

警告 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

- 使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ブリッジベルト、セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- バックルが確実にとまっていることを確認してください。
- ヨコ抱っこ時は、お子さまを必ず手で支えてください。
- しっかりサポートを使用しないときは、バックル部を収納して使用してください。
- 使用の際は、使用者の身体にあわせて各ベルトを調節してください。
- 使用中に走ったり、跳んだり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
- お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用を中止してください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で腰をひくくした姿勢で行ってください。他の人に介添えていただくより安全です。

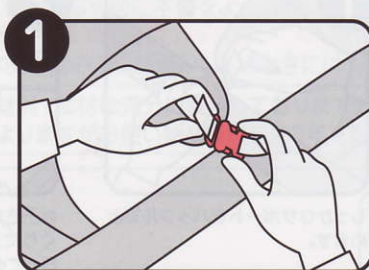
注意 誤った取り扱いをすると、使用者が傷を負ったり、物的障害が想定される内容を示します。

- 授乳後30分間位は使用しないでください。(おなかを圧迫することがあるからです。)
- 連続2時間以上の使用はしないでください。(体調を損なうおそれがあります。)
- 使用中に、お子さまの氣道をふさぐことがないなど、状態に注意してください。
- 「だっこ」時は、使用者の視界を妨げられたり、足元が見えにくくなりますので歩行時には注意してください。
- ベルト先端の返し縫い部は、ほどこいたり切り落としたりして使用しないでください。
- 使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、またはバックルなどが破損していないか確認してください。破損している場合は使用を中止してください。
- バックルの開口部にお子さまの手指をいれないように注意してください。また製品を使用しないときも、バックルが開口していないよう、はめ込んでおいてください。
- しっかりサポートを使用しないときは、しっかりバックルを必ず収納部に入れて使用してください。
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。

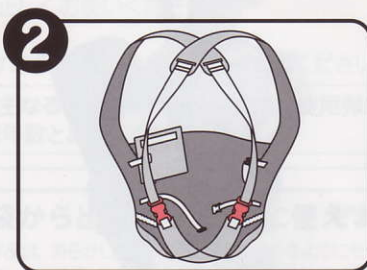
●ヨコ抱っこは左抱き・右抱きのどちらでもお使いいただけます。
説明図は左抱き(お子さまの頭が使用者の左胸にくる抱きかた)の場合です。
※ヘッドボードを入れて使用します。



生後10日頃から首がすわる(4ヵ月頃)まで

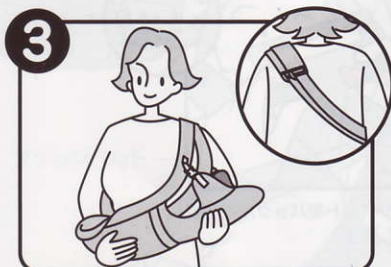


1 しっかりサポートを左右それぞれのバックルでとめます。



2 肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルをとめます。

※裏表紙の「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。



3 お子さまをのせる前に左右の肩ベルトをななめ掛けにして、ベルトの長さを確認します。お子さまの頭が使用者の胸に、お子さまのおしりが使用者のウエストの位置になるように調節してください。

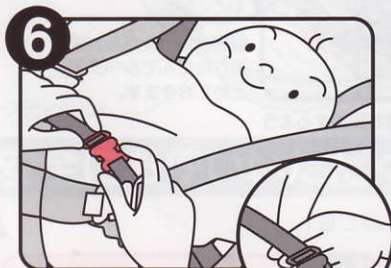
※裏表紙の「肩ベルトの調節のしかた」をお読みください。



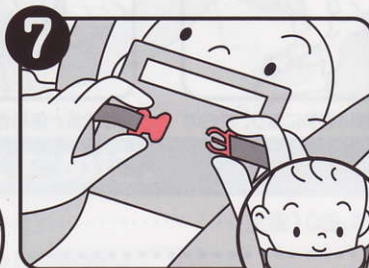
4 お子さまを寝かせて、足をそれぞれ左右の足ぐりに通します。お子さまの頭が、頭当てからはみ出ないようにしてください。安全な場所で行ってください。



5 肩ベルトとしっかりサポートの間にお子さまの腕を通します。



6 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。強くしめすぎないように注意してください。



7 ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。



8 使用者の頭と腕をくぐらせます。安全のために、必ず本体を置いた状態で肩に掛けてください。



9 使用者のからだを起こします。お子さまを必ず手で支えてください。抱っこ時は、足元が見えにくくなりますので歩行時には注意してください。

警告

- お子さまの頭部が使用者の胸に、お尻がウエストの位置になるようにし、手で支えてください。
- バックルが確実にとまっていることを確認してください。
- ブリッジベルト、セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- ヨコ抱っこ時は、お子さまを必ず手で支えてください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で腰をひくくした姿勢で行ってください。

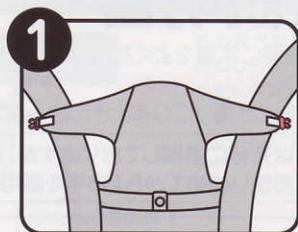
はずしかた 装着するときの手順を逆に行います。

【対面しっかり抱っこ】

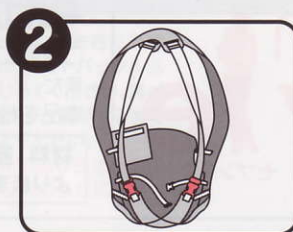
※しっかりサポートを使用します。



※ヘッドボードを入れて使用します。



しっかりバックルをはずします。



肩ベルトの長さを長めにしておき、左右の肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルにとめます。

※裏表紙の「肩ベルトの調節のしかた」「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

首がすわってから(4ヵ月頃)～18ヵ月(体重約12kg)まで



左右の肩ベルトに頭と腕を通し、肩ベルトが背中中でクロスするようにします。



どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。



お子さまを抱きあげ、お子さまの足を左右の足ぐりに通します。おろしておいた肩ベルトを肩にかけます。なおこの時、肩ベルトがお子さまの脇の下にくるようにし、お子さまの腕を出してください。



セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。強くしめすぎないように注意してください。



ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。



肩ベルトを調節します。



しっかりバックルをとめ、ベルトの長さを調節します。



抱っこ時は、使用者の視界を妨げられたり、足元が見にくくなりますので歩行時には注意してください。

【対面抱っこ】

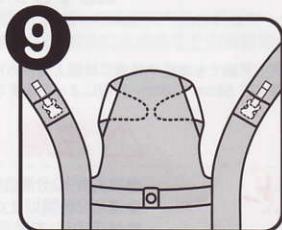
※しっかりサポートは使用しません。



首がすわってから(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重約13kg)まで

1～8

【対面しっかり抱っこ】に同じ。



図のようにしっかりサポートとしてバックルを収納します。

10. 【対面しっかり抱っこ】に同じ。

警告

- 首がすわらないお子さまには使用しないでください。
- バックルが確実にとまっていることを確認してください。
- ブリッジベルト、セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で腰をひくくした姿勢で行ってください。

2

はずしかた 装着するときの手順を逆に行います。

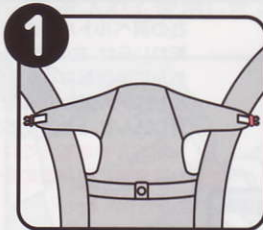
【前向きしっかり抱っこ】

※しっかりサポートを使用します。

※ヘッドボードは使用しません。



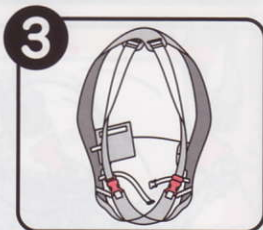
首がすわってから(4ヵ月頃)～18ヵ月(体重約12kg)まで



1 しっかりバックルをはずします。



2 頭当て内部のヘッドボードを抜き取ります。



3 肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルにとめます。

※裏表紙の「肩ベルトの調節のしかた」「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。



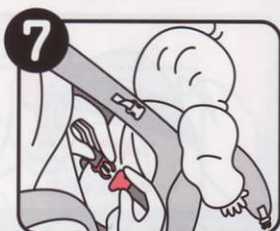
4 左右の肩ベルトに頭と腕を通し、肩ベルトが背中クロスするようにします。



5 どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。



6 お子さまを抱きあげ、足を左右の足ぐりに通します。おろしておいた肩ベルトを肩にかけます。
肩ベルトがお子さまの脇の下にくるようにし、お子さまの腕を出してください。



7 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。強くしめすぎないように注意してください。



8 ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。



9 ゴムをループに通してホックでとめます。しっかりサポートは、お子さまの肩の上にくるようにしてください。



10 しっかりサポートをバックルでとめます。



11 肩ベルトを調節します。
抱っこ時は、使用者の視界を妨げられたり、足元が見にくくなりますので歩行時には注意してください。
※子守帯がお子さまの口にかかってしまう場合は、お尻の下にタオルを敷くなどしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

【前向き抱っこ】

※しっかりサポートは使用しません。



首がすわってから(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重約13kg)まで

1～8 【前向きしっかり抱っこ】に同じ。



9 頭当てを深く折りお子さまの腕をしっかりサポートの上から出してください。

10 11 【前向きしっかり抱っこ】に同じ。

警告

- 首がすわらないお子さまには使用しないでください。
- バックルが確実にとまっていることを確認してください。
- ブリッジベルト、セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で腰をひくくした姿勢で行ってください。

はずしかた

装着するときの手順を逆に行います。

【しっかりおんぶ】

※しっかりサポートを使用します。

※ヘッドボードを入れて使用します。



しっかりサポートをバックルでとめます。



お子さまを寝かせ、足を左右の足ぐりに通します。安全な場所で行ってください。

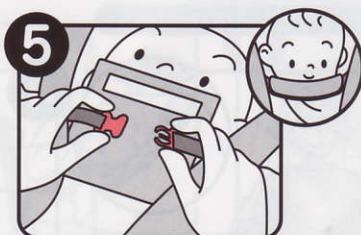
首がすわってから(4ヵ月頃)～18ヵ月(体重約12kg)まで



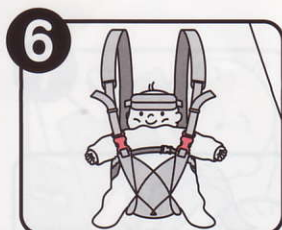
肩ベルトとしっかりサポートの間にお子さまの腕を通します。



セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。強くしめすぎないように注意してください。



ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。



肩ベルトバックルをとめます。この時、肩ベルトは、クロスさせません。
※裏表紙の「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。



使用者は低い姿勢になり、左右の肩ベルトに腕を通します。



お子さまと使用者が密着するように、肩ベルトの長さを調節します。

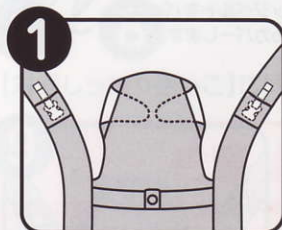
調節後余ったベルトは折りたたんでループでとめておきます。

【おんぶ】

※しっかりサポートは使用しません。



首がすわってから(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重約13kg)まで



図のようにしっかりサポートとしっかりバックルを収納しておきます。

2～8

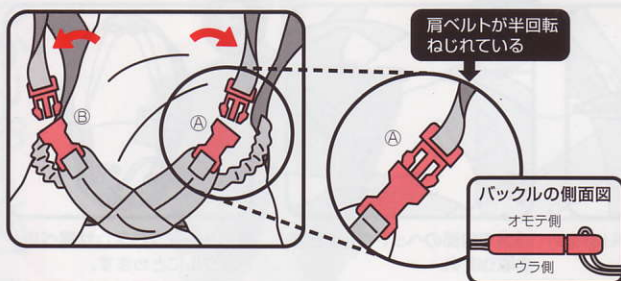
【しっかりおんぶ】に同じ。

⚠ 警告

- 首がすわらないお子さまには使用しないでください。
- バックルが確実にとまっていることを確認してください。
- ブリッジベルト、セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で腰をひくくした姿勢で行ってください。

はずしかた 装着するときの手順を逆に行います。

肩ベルトバックルのとめかた



右の肩ベルトバックル④を右に半回転ねじらせ、左の肩ベルトバックル⑤も左に半回転ねじってください。肩ベルトバックルはカチッと音がするまで差し込んで、とめてください。

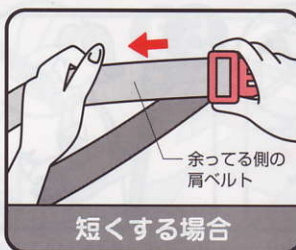
※肩ベルトをあえてねじらせるのは、装着時に使用者のからだにそわせるためです。

肩ベルトの調節のしかた



長くする場合

肩ベルトのバックルを立てるように持ち、本体側の肩ベルトをそのまま矢印の方向にひっぱります。



短くする場合

肩ベルトのバックルを持ち、余っている側の肩ベルトをそのまま矢印の方向にひっぱります。

お手入れ方法

- ・洗濯は水またはぬるま湯で手洗いし、手で弱く絞って陰干ししてください。
- ・軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。
- ・素材および洗濯表示については、製品に縫い付けのラベルをご参照ください。

洗濯についてのご注意

- ・色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。
- ・つけ置き洗いも避けてください。
- ・漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。
- ・洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

- ・SGマークは、(財)製品安全協会が定める子守帯の認定基準に合格した製品に与えられるマークです。
- ・製品の欠陥によって、けがなどの人身事故が発生した場合は、(財)製品安全協会がその損害賠償措置をいたします。但しご購入日より3年間です。

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8 TEL 0585-45-7425 SG基準認定工場第31-001号